

準備 第 1 章

お使いになるまえに	10
付属品の確認	10
ストラップの取り付けかた	10
電源について	11
乾電池のセット	11
コンセントで使う	13
メモリーカードについて	14
メモリーカードの種類	14
メモリーカードのセット	16
メモリーカードの初期化	16
撮影の前に	18
日付・時刻を合わせる	18
視度を調整する	19
カメラの構えかた	19

お使いになる前に

付属品の確認

次のものが揃っているかお確かめください。また、保証書は内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

- ・デジタルカメラ（本体）..... 1台
- ・液晶モニター 1台
- ・ビデオケーブル 1本
- ・本体専用ソフトカバー 1個
- ・単3形アルカリ乾電池 4本
- ・ハンドストラップ 1本
- ・説明書 3冊
 - 本体使用説明書（本書）..... 1冊
 - 液晶モニター取扱説明書 1冊
 - 携帯マニュアル 1冊
- ・モニターカード 1枚
- ・保証書

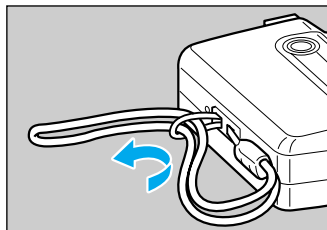
ストラップの取り付けかた

カメラを落とさないように、付属のハンドストラップをカメラに取り付けて使用してください。

- ① ストラップの先端をカメラのストラップ取り付け部に通して取り付けます。

重要

- ・カメラ本体を振り回すような持ち方はしないでください。



電源について

電源は、市販の乾電池を使用する方法と、家庭用コンセントを使用する方法があります。

1
準備

乾電池のセット

乾電池（単3形アルカリ乾電池）をセットして、カメラを操作します。

補足 ・乾電池のかわりに、市販の充電可能なニカド電池やニッケル水素電池も使用できます。

⚠注意



電池は、火の中に入れてたりショート、分解、加熱、充電しないでください（ニカド電池、ニッケル水素電池は充電可能）。電池が破損し、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

電池をハンダ付けしないでください。電池が破損し、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。



電池から漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損した電池に触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。（石鹼は使用しないでください）

また、液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

充電可能な電池について

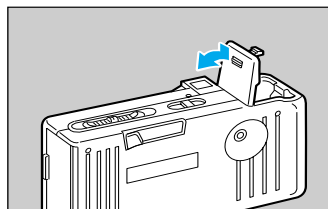
・市販のニカド電池やニッケル水素電池をお使いになるときには、各製品に付属の説明書の「安全上のご注意」を操作の前に必ずお読みください。

重要

- ・指定の単3形の電池をお使いください。
- ・マンガン乾電池やリチウム電池など、指定以外の電池を使用すると本体やモニターが故障や破壊するおそれがあります。セットしないでください。
- ・長時間ご使用になると、電池の種類によって電池が熱くなることがあります。

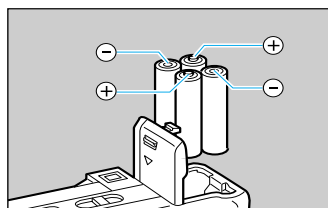
- ① カメラの電源が切れていることを確認してから、つまみをスライドさせ電池ぶたを開けます。

参照 カメラの電源について P.23「電源を入れる」

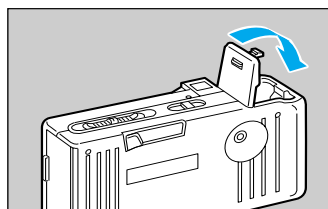


- ② 電池をセットします。

重要 ・電池の極性(+ 極、 - 極)の向きを間違えないように気をつけてください。



- ③ 電池ぶたを閉じます。



撮影・再生の目安

単3形アルカリ乾電池を使用した場合の、撮影時の記録可能枚数の目安と、再生時の使用可能時間の目安は、次の表のとおりです。(常温時：10 ～ 30)


< 当社測定方法による >

電池の種類	記録可能枚数の目安 静止画	再生時間の目安 静止画
単3形アルカリ乾電池	約 300 枚	約 2 時間

使用条件により、電池の寿命は異なります。

電池のメーカーや電池の種類によって上記の数値は異なります。

再生時間の目安は、液晶モニターを使用せずにテレビで再生したときの数値です。

- 補足** ・液晶モニターを使用して撮影または再生するときは、上記の数値より少なくなります。
- ・電池だけでご使用になるときは、予備の電池を用意してください。
 - ・電池マーク()の点灯は、電池の消耗を表しています。予備の電池を用意してください。

〔ニカド電池やニッケル水素電池は、電池の特性上この電池マークが点灯してから完全に電池が消耗するまでのタイミングがアルカリ乾電池のときよりも早いです。〕

使用上のご注意

- ・電池の+極と-極の向きを正しくセットしてください。
- ・破損や寿命になっている電池は使用しないでください。
- ・火気に近づけたり火の中に投げ込んだりしないでください。
- ・強い衝撃を与えないでください。
- ・形式・銘柄の異なる電池、メーカーの異なる電池、古い電池と新しい電池など、電池を混用しないでください。

コンセントで使う

撮影・再生で長時間ご使用になるときは、ACアダプター（別売り）を接続して家庭用コンセントでお使いください。

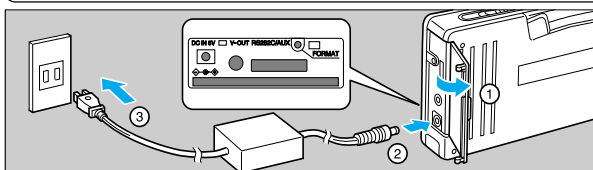
⚠ 注意



家庭用コンセントをご利用になるときは、必ず専用のACアダプター（型名:AC-2、AC-2100 <別売り>）をご使用ください。指定以外のアダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。

ACアダプターについて

ACアダプターに付属の取扱説明書、「安全上のご注意」を操作の前に必ずお読みください。



（イラストは、ACアダプターAC-2の使用例です。）

- ① カメラの電源が切れていることを確認してから、カメラの側面カバーを開きます。
- ② ACアダプターの接続ケーブルを、カメラの電源 DC入力 端子に接続します。
- ③ コンセントに電源プラグを差し込みます。

補足

・カメラ本体に電池がセットされている場合、家庭用コンセント（ACアダプター側）からの電源を優先して供給します。

重要

・電源プラグおよび接続ケーブルは、しっかり差し込んでください。記録中にプラグやケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。

・カメラを操作中（記録・再生・消去など）にACアダプターを接続すると、電源の供給先が変わるため、一度電源が切れます。

そのため、データが破壊されることがありますので、必ずカメラのメインスイッチが[電源OFF]の状態にACアダプターを接続してください。

メモリーカードについて

メモリーカードの使いかたについて説明しています。メモリーカードをお使いにならないときは、「撮影の前に」P. 18に進んでください。

メモリーカードの種類

記録先にメモリーカードを指定すると、撮影したデータは、メモリーカードにデジタル記録されます。本機でメモリーカードをご使用になる場合、必ずリコー製メモリーカード（別売り）をご利用ください。

参照 メモリーカード P.62「別売り品について」



リコー製 ATA カード仕様

主な仕様

仕様	: PCMCIA2.1/JEIDA4.2およびPCMCIA ATA 1.02 準拠、TYPE
インタフェース	: ATA
駆動電圧	: 5 V
起動時間	: Max 2.5ms(スリープから書込み)
起動時間	: Max 2.0ms(スリープから読出し)
アクセス時間	: Max 0.8ms
動作温度(動作時)	: -10 ~ 65
耐振動	: Max15Gp-p
耐衝撃	: Max1,000G
信頼性(MTBT)	: 30万時間以上

他のメモリーカードについて

リコー製以外のメモリーカードを使用すると、不具合が発生する可能性があります。市販の製品をお使いになるときは、メモリーカードメーカーに必ずご確認ください。

フラッシュメモリー ATA カード (ATA 仕様)

- ・PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2 TYPE I、TYPE II 準拠、容量最大 40M バイト
- * コモンメモライトサイクルが 300ns 以下の製品

フラッシュメモリー AIMS カード (AIMS 仕様)

- ・PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2 TYPE I 準拠、容量最大 24M バイト
- * リコーのデジタルカメラ DC-1、DC-1S 専用の AIMS 仕様のメモリーカードもご利用できます。

重要

- ・一部の PC カード (リコー製以外) は、カメラで使用するとカードに障害を与えることがあります。
- ・JEIDA4.1 対応のカードの中で、記録したデータをカメラ上で再生できないものがあります。
- ・ICMC マークのカードは、記録したデータをカメラ上で再生できないものがあります。
- ・容量の最大値を超える物は取り扱えません。ご注意ください。
- ・市販の ATA 仕様のメモリーカードをご使用になる場合、撮影に時間がかかることがあります。あらかじめご了承ください。

ATA とは、AT Attachment の略で、AT 互換コンピュータがハードディスクをアクセスするのに使用するインターフェースとプロトコルを意味します。

AIMS とは、Auto Indexing Mass Storage の略で、デジタルカメラなどの携帯用機器の標準カードインターフェースを規定するものです。

SRAM カードは使用できません。

JEIDA 4.2 メモリーカードとは

上記の形式は、パソコンに統一して用いるためのメモリーカードで、日本のパーソナルコンピュータ等を統括する業界団体のJEIDAが規格化を行いました。PCMCIAとの間で共同に標準化を進めており、カードの名称が「PCカード」となりました。

JEIDA とは（社）日本電子工業振興協会の英文字名称の略号です。

PCMCIA とは、パーソナルコンピュータメモリーカード国際協会（Personal Computer Memory Card International Association）の略号です。

使用上のご注意

メモリーカードについて

- ・カードを曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- ・静電気や電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管はさけてください。
- ・高温多湿の場所、ホコリの多い場所、または腐食性のある環境下でのご使用、保管はさけてください。
- ・コネクタ部にゴミや異物を入れないようにしてください。
- ・危険なので、カードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- ・カードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しく記録ができなくなることがあります。

データについて

- ・お客様または第三者がカードの使いかたを誤ったり、カードが静電気や電氣的ノイズの影響を受けたり、故障や修理のときに記録したデータが消滅することがあります。記録したデータの消滅による損害について、当社は一切責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- ・メモリーカードへ記録中に電池を取り外したり、電源を切ったり、ACアダプターを接続したりしないでください。カード内のデータが破壊されることがあります。

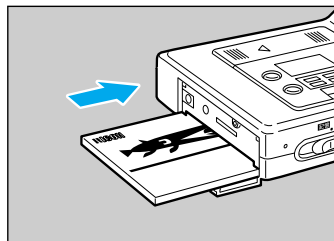
メモリーカードのセット

カメラの電源が切れていることを確認してからメモリーカードをセットします。

- 重要** ・カメラの電源が入った状態でメモリーカードの出し入れをしないでください。

セットする

- 1 カメラの側面カバーを開きます。
- 2 カードの表面を上にして、カード挿入口にセットします。
カード挿入口の面と同じ位置になるまで、しっかり押し込んでください。

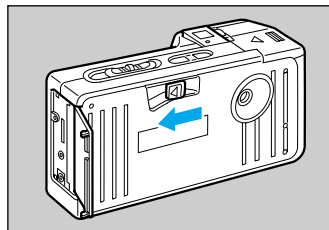


- 補足** ・メモリーカードをセットするときは、カードの向きを間違えないようにしてください。また、カードは斜めに挿入しないでください。

取り出す

- 1 カード取出しレバーを矢印の方向にスライドさせて取り出します。

- 重要** ・メモリーカードへ記録中にカードを取り出さないでください。カード内のデータが破壊されることがあります。
- ・側面カバーを閉めたまま、カードを取り出さないでください。



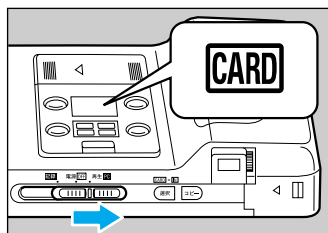
メモリーカードの初期化

新しいメモリーカードをお使いになるとき、または他の機器（パソコンなど）で使用していたメモリーカードをお使いになるときは、初期化（フォーマット）が必要です。

- 補足** ・メモリーカードがセットされていることを確認してください。

① メインスイッチを[再生(PC)]にスライドします。

情報パネルにカードマークが表示されていることを確認してください。



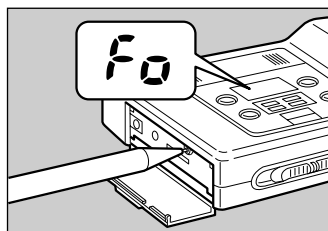
- 補足** ・情報パネルにINマークが表示されているときは、メモリー選択ボタンを約1秒押してカードマークを表示させてください。

参照 メモリー選択ボタンについて P.24「記録先のドライブを指定する」

② カメラの側面カバーを開き、シャープペンシルや爪などの先でフォーマットボタンを押します。

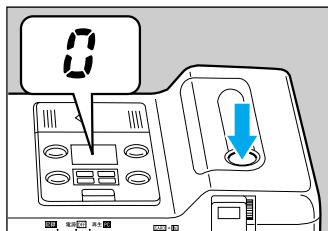
情報パネルに「Fo」が表示されたら離します。

- 重要** ・先の鋭いものや折れやすいものは使用しないでください。



③ レリーズボタンを約2秒以上押します。

初期化を開始します。初期化が終了するとブザーがなり、情報パネルのカウンター表示が0になります。初期化が完了しました。側面カバーを閉めてお使いください。



- 重要** ・記録されているメモリーカードを初期化すると、記録されているデータがすべて消去されます。

- 補足** ・メモリーカードによっては、初期化に数十秒～数分かかることがあります。
・連写ファイルを再生し、一時停止した状態では初期化できません。



メモリーカードを安定してご使用いただくためには次のようなときに、できるだけ初期化してください。

- ・消去と記録を繰り返し（約4,000回）行ったとき
- ・メモリーカード内のすべてのデータを消去したいとき

撮影の前に

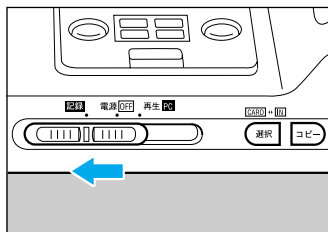
実際に操作する前に、調整していただきたいことや知っておいていただきたいことについて説明しています。

日付・時刻を合わせる

セットした日付や時刻を撮影時に記録します。最初にお使いになるときや海外で撮影するときなど、日付や時刻を修正するときにお使いください。

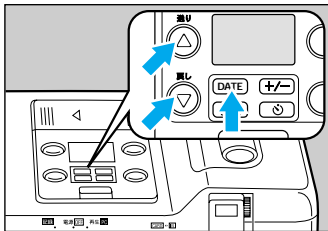
- 補足** ・年は西暦で入力します。
・時刻は24時間表示です。0:00は真夜中を、12:00は正午を表します。

- ① **メインスイッチを[記録]にスライドします。**



- ② **DATE ボタンを約2秒以上押し続けます。**
情報パネルの年表示が点滅します。

- ③ **ボタンまたは ボタンを押して、点滅している数字を変更します。**



数字を進める

ボタンを押します。ボタンを押し続けると早く動きます。

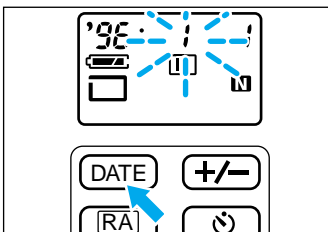
数字を戻す

ボタンを押します。ボタンを押し続けると早く動きます。

- ④ **DATEボタンを押して、修正したい部分を点滅させます。**

手順3、4の操作を繰り返して、必要な部分を修正します。

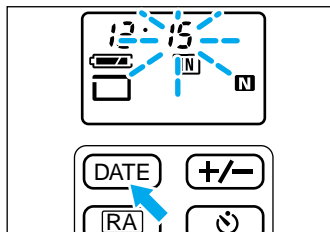
- 補足** ・DATEボタンを押すたびに、年から月 日 時 分の順番で点滅します。



⑤分を合わせたあと、もう一度DATEボタンを押します。

時計が動きはじめます。

- 補足** ・時報と同時にDATEボタンを押すと、秒合わせできます。



コラム

日付・時刻を確認するには

セットした日付や時刻は、DATEボタンを押すたびに、日付 時刻通常表示の順番で情報パネルに表示されます。

* DATEボタンを約2秒以上押し続けると、日付・時刻の設定モードになります。注意してください。

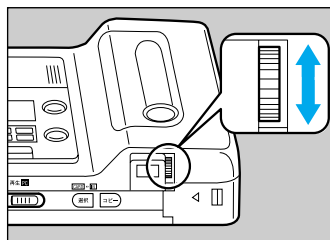
1

準備

視度を調整する

ファインダーから被写体がはっきり見えるように、視度を調整します。

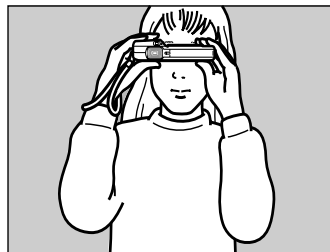
① 視度調整つまみを上下に動かして、被写体がはっきり見えるように調整します。



カメラの構えかた

撮影のときにカメラが動いてしまうことを「カメラブレ」といいます。カメラブレの映像は、画像全体がブレてしまい、シャープに写ったところがありません。カメラが動かないように正しく構えてください。

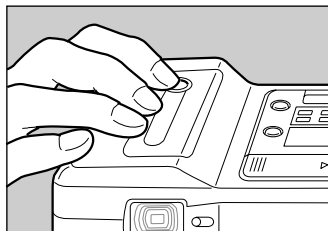
① カメラを図のように両手でしっかり持ちます。ひじは軽く体につけ、カメラを軽く顔に押しつけるように固定し、ファインダーをのぞきます。



② レリーズボタンに入さし指の腹が軽く触れるようにします。

重要

- ・レリーズボタンから人さし指を離しておいて、撮影のときに一気にレリーズボタンを押し込むと、カメラブレの原因になります。



補足

- ・縦位置に構えて撮影した被写体を再生すると、被写体は横向きに表示されます。

カメラ前面のレンズなどに指や髪、ストラップなどがかからないように注意してください。

